

## 被災1周年行事「追悼と再生へのタベ」

共同支援センターは1月1日午後4時10分に黙祷を捧げ、「追悼と再生へのタベ」をおこないました。このなかから、国会報告、被災者の発言、来賓とフリー発言の一部を紹介します。



ご支援への感謝とさらなる奮闘の決意を述べる藤野保史責任者

## 発言した被災者のみなさん〔一部〕

### 珠洲の願いを行政につなぐ「架け橋」



珠洲市被災者〔金沢市みなし仮設への避難をへて珠洲に帰還〕

坂東正幸さん

### 支援センターは被災住民の「命綱」



羽咋市・市民団体「がんばろう！羽咋地震対策連絡会」メンバー

西沢雅子さん

### 住民本位の液状化対策を



内灘町液状化被害住民組織「がんばろう内灘KSNJ」設立メンバー

戸田令子さん



国会報告〔日本共産党〕

### 井上さとし参院議員

井上氏は、能登の復旧が遅れ、多くの被災者が「見捨てられた気持ち」と口にする現状は「人災」と指摘。

自立と効率化を押し付ける上からの「復興」ではなく、農林水産業など能登半島の特徴にあわせた生活と生業の再建が必要と強調。

自公が過半数割れした国会では、共産党国会議員団など野党の奮闘で医療費無償化の期間延長をかちとるなど、被災者要求を实らせる新しい可能性が広がりつつあり、被災者要求の実現にいっそう全力をつくすと表明しました。

## 来賓・フリー発言のみなさん

日本共産党 志賀町議会議員



中谷松助さん

支援センターの力添えで山間部の自主水道の復旧費用に国の補助がつくことになった。志賀原発電炉はじめ住民要求の前進に頑張る。

新婦人羽咋班、前羽咋市議



北川まち子さん

「がんばろう！羽咋連絡会」と共に市長交渉を重ね来月のシンポジウムには市長も出席の方向。市政とも力をあわせ要求実現に頑張る。

日本共産党能登地区 議員団長・かほく市議



高橋しげのりさん

支援センターの生活物資「お渡し会」は市の後援も得て被災者に定着。お困りごと相談も好評。苦難軽減の議員団をもっと大きく。

石川県労連 副議長



長曾輝夫さん

県民に心を寄せない馳景政のもとで、公費解体などの復旧は遅れに遅れ、自治体職員は疲弊は極まった。県政転換へとも頑張ろう。